



共同獣医学部学術セミナー

演題: ウイルス感染症への病理学からのアプローチ

講師: 坂井 祐介 (大阪大学 微生物病研究所 特任研究員)

開催日時: 5月8日(金) 17:00~18:00

場所: 連合獣医学棟4F大講義室

講演要旨: 感染症の病態発現には、“病原体の増殖・病原性発現機構の作動”と“それに対する宿主の免疫・組織応答反応”という感染体側と宿主側の二つの機構が関与します。これまで、宿主応答については結核菌の菌体毒素に対する炎症反応や中枢神経系への免疫反応を、病原体については狂犬病ウイルスやSARSコロナウイルスの宿主細胞内での生活環を研究してきました。

本セミナーではこれらの研究成果を概観した後、今後SARSコロナウイルスをはじめとしたウイルス感染症の病態の研究を行うにあたって、ウイルス感染症における“病の理”を理解するためにどのようなアプローチを採って研究を進めてゆきたいか、どういった面で病理学の特徴を出してゆくのか、自分の考えを話させて頂きたいと思います。

問合せ先: 森本将弘(内線5892)